

資料 4

障害福祉に関する意識調査 (障害のある児童)

しょうがいふくし かん ちょうさ 障害福祉に関する調査

2014年10月

ちょうさ きょうりょく ねが 調査へのご協力のお願い

1. この調査は、障害のある人びとが安心して暮らせる社会をつくる基礎資料とするために、
はくさんし かなざわだいがく しょうがい いりょう ふくし けんきゅうかい きょうどう じっし
白山市と金沢大学「障害と医療・福祉」研究会が共同で実施するものです。調査の目的
をご理解いただき、率直なご意見をご記入いただきますようお願いいたします。
2. この調査は、あなたさまをはじめ、市内にお住まいの障害のある方々から、くじ引きに
に ほうほう むさくいちゆうしゅつほう めい えら
似た方法（無作為抽出法）で1500名を選ばせていただきました。
3. 回答は、封筒の宛名のご本人が記入してください。ご本人が記入できない場合は、ご家族
かいとう ふとう あてな ほんにん きにゆう ほんにん きにゆう ばあい かぞく
などどなたかに代筆していただくか、ご本人の意思を尊重して、ご回答ください。
4. この調査は無記名ですので、どなたのご回答であるのか特定されることはありません。
みなさま方個人および、ご家族の方々のことが外部にもれることは絶対にありません。ま
また、この調査票で得られたデータは、白山市の福祉行政を実現する施策づくりおよび大学
での研究目的以外には使用いたしません。
5. ご記入いただきましたら、10月14日（火）までに同封の返信用封筒に入れてご投函
ください。※切手は不要です。封筒裏面に差出人のお名前を記入する必要もありません。
6. 以上の点をご理解いただき、なにとぞご協力をお願いいたします。この調査に関する
ご質問がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

じっしせきにんしゃ 【実施責任者】

はくさんしけんこうふくししょうがいふくしか
白山市健康福祉部障害福祉課

かなざわだいがく しょうがい いりょう ふくし けんきゅうかい
金沢大学「障害と医療・福祉」研究会

とい あ さき 【問い合わせ先】

はくさんしけんこうふくししょうがいふくしか
白山市健康福祉部障害福祉課

T e l : 0 7 6 - 2 7 4 - 9 5 2 6

F a x : 0 7 6 - 2 7 5 - 2 2 1 1

ちょうさひょうきにゅうじょう ちゅういじこう 調査票記入上の注意事項

- ◎ご記入は、黒または青色のボールペン・ペン・鉛筆でお願いいたします。
- ◎回答のしかた
- (1) ほとんどの質問は、あてはまるものの番号（123・・・の数字）を○印でかこんで、お答え
ください。
 - (2) いくつかの質問には、枠内に文字・数字を直接ご記入ください。
 - (3) 答えにくい質問があるかもしれませんが、できるだけすべての質問にお答えいただければ
幸いです。

■まず、あなたご自身のことについてお聞きします。

問1 このアンケートにご記入いただくのはどなたですか。つぎの1～4の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. ご本人が記入 | 3. ご家族がご本人に代わって回答 |
| 2. ご家族が代筆 | 4. その他 () |

問2 あなたの性別はどちらですか。つぎの中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたは白山市のどの地域にお住まいですか。つぎの1～4の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|--------------------|
| 1. 松任 | 3. 鶴来 |
| 2. 美川 | 4. 河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰 |

問4 あなたの年齢は何歳ですか。〔2014（平成26）年10月1日現在でお答えください〕

満 さい 歳

問5 あなたの世帯は、あなたを含めて何人家族ですか。

にんかぞく 人家族

問6 あなたが同居されているご家族を、つぎの1～7の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。ただし、亡くなっているかたは除いてください。

- | | |
|----------|------------|
| 1. おとうさん | 5. きょうだい |
| 2. おかあさん | 6. 親戚の人 |
| 3. おじいさん | 7. その他 () |
| 4. おばあさん | |

問7 あなたのお住まいについてお聞きします。

(1) 現在のお住まいは、つぎのなかのどれですか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て住宅） | 4. グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム |
| 2. 持ち家（集合住宅〔マンションなど〕） | 5. 民間の借家・賃貸アパート・マンション |
| 3. 市営・県営などの公的賃貸住宅 | 6. その他（具体的に： ） |

(2) これからの生活をどこで送りたいですか。つぎの1～7の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て住宅） | 5. 民間の借家・賃貸アパート・マンション |
| 2. 持ち家（集合住宅〔マンションなど〕） | 6. 入所施設 |
| 3. 市営・県営などの公的賃貸住宅 | 7. その他（具体的に： ） |
| 4. グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム | |

■あなたの障害の種類、等級(程度)などについてお聞きします。

問8 (1) あなたは、療育手帳をお持ちですか。

1. 持っている⇒問8 (2) へ

2. 持っていない⇒問9 (1) へ

(2) 【問8 (1) で1と答えた方にのみお聞きします。】あなたの療育手帳の判定は、つぎのいずれですか。つぎの1～3の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. A

2. B 1

3. B 2

(3) あなたが療育手帳をはじめて取得したのは何歳でしたか。

満 歳

問9 (1) あなたは、身体障害者手帳をお持ちですか。

1. 持っている⇒問9 (2) へ

2. 持っていない⇒問10 (1) へ

(2) 【問9 (1) で1と答えた方にのみお聞きします。】身体障害者手帳の等級は、総合等級では何級ですか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1級

3. 3級

5. 5級

2. 2級

4. 4級

6. 6級

(3) では、あなたの障害はどのような障害ですか。つぎの1～5の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 視覚障害

4. 肢体不自由

2. 聴覚障害、平衡機能障害

5. 内部障害〔心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・

3. 音声・言語機能障害、そしゃく機能障害

直腸、小腸、肝臓、免疫機能の障害など〕

(4) あなたの障害の原因はなんですか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 交通事故

4. 先天性(生まれつき)

2. 労働災害

5. 疾病

3. その他の事故

6. その他()

(5) あなたが身体障害者手帳をはじめて取得したのは何歳でしたか。

満 さい

問10 (1) あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

1. 持っている⇒問10(2)へ

2. 持っていない⇒問11へ

(2) 【問10(1)で1と答えた方にのみお聞きします。】では、精神障害者保健福祉手帳の等級は、何級ですか。つぎの1～3の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1級

2. 2級

3. 3級

(3) あなたが精神障害者保健福祉手帳をはじめて取得したのは何歳でしたか。

満 さい

問11 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。

1. はい

2. いいえ

問12 あなたは発達障害（自閉症、学習障害など）の診断を受けていますか。

1. はい

2. いいえ

■あなたの日常生活上の支援者についてお聞きします。

問13 あなたは、どのようなときに、どなたの支援が必要ですか。

(1) 支援が必要と思うのは、どのようなときですか。a～mのそれぞれについて、つぎの1～3の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	1. 自分でできる	2. ときどき支援が必要	3. つねに支援が必要
a. 食事をするとき	1	2	3
b. トイレを利用するとき	1	2	3
c. 薬を飲んだり保管するとき	1	2	3
d. 入浴するとき	1	2	3
e. 着替えをするとき	1	2	3
f. 掃除・洗濯をするとき	1	2	3
g. 炊事をするとき	1	2	3
h. 外出するとき	1	2	3
i. 家の中で移動するとき	1	2	3
j. 家族以外の人とコミュニケーションするとき	1	2	3
k. 生活費などお金の管理	1	2	3
l. 日常の暮らしに必要な事務手続き	1	2	3
m. 緊急時に避難・連絡したいとき	1	2	3

(2) 【問13(1)で2か3と答えた場合にお答えください。】では、実際に支援をお願いするのはどなたですか。a～mのそれぞれについて、つぎの1～4の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家族や親戚	2. 友人・近所の人・ボランティア	3. ヘルパー・職員	4. その他()
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4

問14 あなたの日常生活上の主な支援者についておたずねします。

(1) 主な支援者は、つぎのうちどなたですか。つぎの1～12の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者(夫・妻)	5. 配偶者の父母	9. 配偶者の祖父母
2. 子ども	6. 自分の兄弟姉妹	10. 孫
3. 子どもの配偶者	7. 配偶者の兄弟姉妹	11. 支援者はいない⇒問17へ
4. 自分の父母	8. 自分の祖父母	12. その他()

- (2) 主な支援者に対して必要だと思われるケアやサポートがありますか。つぎの1～10の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 仕事ができるようなサポート	6. 経済的な援助
2. 外出できるようなサポート	7. 相談する相手
3. 代わりに支援を頼めること	8. 緊急時のサポート
4. 支援者本人が自分の時間を持てるようにすること	9. 特にない
5. 支援の方法に関するアドバイス	10. その他 ()

- (3) 主な支援者が高齢、病気などで将来支援ができなくなった場合は、どうしますか。つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 親族の支援を受ける
2. ホームヘルパーなどを利用し、自宅で暮らしたい
3. グループホーム・ケアホーム・福祉ホームで暮らしたい
4. 施設に入所する
5. その他 ()

- 問15 あなたは悩みや困ったことがある場合、どちらに相談されますか。つぎの1～22の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家族	12. 発達相談センター
2. 親戚	13. 配偶者の兄弟姉妹
3. 友人・知人	14. 高齢者支援センター
4. 市役所、児童相談所などの行政機関	15. 社会福祉協議会
5. 障害者団体、患者団体や家族会	16. 医師や看護師などの医療関係者
6. 民生委員・児童委員	17. 学校の先生
7. 障害者相談員	18. 職場の人
8. 相談支援事業所	19. 障害者就業・生活支援センター
9. 施設や作業所の職員	20. 相談したいができない(しない)
10. グループホームの世話人	21. 悩みや困ったことはない
11. 居宅介護のヘルパー	22. その他 ()

- 問16 自宅で入浴、排せつ、食事などの支援・介助を受けたり、調理、洗濯、そうじなどの支援を受けたりする居宅介護(ホームヘルプサービス)の利用について、あてはまる番号に○をつけてください。つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している
2. 今は利用していないが、利用したことはある
3. 利用したことはないが、今後利用したい
4. 利用したことはなく、今後も利用しない
5. サービスについて知らない

■通園・通学などについてお聞きします。

問 1 7 通園・通学などの状況についてお聞きします。

(1) あなたは、どちらに通園・通学(在宅訪問教育も含む)されていますか。つぎの1～12の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 障害児通所施設 (児童発達支援)
2. 幼稚園
3. 保育園
4. 認定こども園
5. 小学校・小学部
6. 中学校・中学部
7. 高等学校・高等部
8. 専門学校・専修学校・各種学校
9. 職業訓練校
10. 仕事をしている
11. 就園・就学しないで家にいる
12. その他 ()

(2) 【問 1 7 (1) で5～7と答えた方のみお答えください。】
では、通われているのはどれにあたりますか。つぎの1～3の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

⇒ 1. 通常の学級	⇒ 2. 特別支援学級	⇒ 3. 特別支援学校
⇒ 1. 通常の学級	⇒ 2. 特別支援学級	⇒ 3. 特別支援学校
⇒ 1. 通常の学級	⇒ 2. 特別支援学校	
⇒ 問 2 4 へ		
⇒ 問 2 3 (1) へ		

問 1 8 通園・通学などでとくに困っていることがありますか。つぎの1～11の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 通うのに付き添いが必要
2. 授業についていけない・よくわからない
3. 設備などが障害のある児童に配慮されていない
4. 学校内・園内での介助が十分でない
5. 友だちができない
6. 先生の配慮や生徒たちの理解が得られない
7. 「特別支援学級」に入れてもらえない
8. 「通常の学級」に入れてもらえない
9. 教科指導が十分に受けられない
10. とくに困っていることはない
11. その他 ()

問 1 9 学校で勉強する場合に、どのような形を望みますか。つぎの1～4の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 障害のあるなしにかかわらず、一緒にクラスで勉強したい
2. 同じような障害のある仲間たちのクラスで勉強したい
3. 障害のある仲間たちのクラスで勉強しながら、障害のない仲間たちとも勉強する機会を持ちたい
4. その他 ()

問20 放課後に児童をあずかる放課後児童クラブについてお聞きします。放課後児童クラブを障害のある児童が利用することについて、つぎの1～7の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください

1. 放課後児童クラブに通っている。または、通っていた
2. いままでは利用していないが、これからは利用したい
3. 小学校へ入学したら利用したい
4. 希望したが、入れてもらえなかった
5. 希望しない。または、希望しなかった
6. 放課後児童クラブは知らない。または、知らなかった
7. その他 ()

問21 放課後や夏休みなどの長期休暇中に障害のある児童が利用する放課後等デイサービスについてお聞きします。放課後等デイサービスを利用することについて、つぎの1～7の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 放課後等デイサービスに通っている。または、通っていた
2. いままでは利用していないが、これからは利用したい
3. 小学校へ入学したら利用したい
4. 希望したが、入れてもらえなかった
5. 希望しない。または、希望しなかった
6. 放課後等デイサービスは知らない。または、知らなかった
7. その他 ()

問22 今の学校を卒業したあとのことを、どのように考えていますか。つぎの1～9の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1. 高校・大学・専門学校などに進学したい | 6. 就職したい |
| 2. 通常の学級に進学したい | 7. 家にいたい |
| 3. 特別支援学級・特別支援学校などに進学したい | 8. とくに考えていない |
| 4. 施設に入りたい | 9. その他 |
| 5. 施設に通いたい | () |

問23 【問17(1)で11と答えた方にのみお聞きします。】

(1) 家にいる理由は何ですか。つぎの1～6の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. まだ学校に通う年齢になっていないから
2. 受け入れてくれる幼稚園・保育園・障害児通所施設（児童発達支援）がないから
3. 受け入れてくれる学校がないから
4. 就園・就学できる健康状態ではないから
5. 就園・就学したくないから
6. その他 ()

(2) 今後はどのようにしたいとおもいますか。つぎの1～4の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1. 障害児通所施設 (児童発達支援) に通いたい | 3. このまま家にいたい |
| 2. 幼稚園・保育園・学校に通いたい | 4. その他 () |

問24 【問17(1)で10と答えた方にのみお聞きします。】あなたは現在、どのような形で働いていますか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 常勤 (正規の職員・社員) | 4. 就労移行支援・就労継続支援・作業所など |
| 2. パート、アルバイト、臨時雇い (派遣社員を含む) | 5. 内職 |
| 3. 家の仕事 (自営業、手伝い) | 6. その他 () |

問25 【ここからまたすべての人にお聞きします。】高等学校・高等部卒業後、あなたはどのように暮らしたいとお考えですか。つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 家族と一緒に自宅で暮らしたい | 4. 入所施設に入りたい |
| 2. 家族から独立して暮らしたい | 5. その他 () |
| 3. グループホーム・ケアホームで暮らしたい | |

■外出についてお聞きします。

問26 あなたは過去1年間にどれくらい外出しましたか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 月に3～4回 |
| 2. 週に4～5回 | 5. 月に1～2回 |
| 3. 週に2～3回 | 6. ほとんど外出していない |

問27 あなたの主な外出先・用件はどちらですか。つぎの1～10の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 通院 | 6. 金融機関 |
| 2. 通学・通勤 | 7. 団体等の会議・催し |
| 3. 買い物 | 8. 余暇活動 |
| 4. 親戚・友人・知人宅 | 9. デイサービスなどの福祉施設 |
| 5. 役所 | 10. その他 () |

問 2 8 あなたは外 出 される時、主にどなたと外 出 されますか。つぎの 1 ～ 9 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 単 独 (白杖歩行・盲導犬を含む) | 6. 友人・知人 |
| 2. 家族・親戚 | 7. 近所の人 |
| 3. ガイドヘルパー | 8. ボランティア |
| 4. ホームヘルパー | 9. その他 () |
| 5. デイなどの施設の職員 | |

問 2 9 あなたの外 出 のときの主な移動手段は何ですか。つぎの 1 ～ 8 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------|-------------------|
| 1. 徒歩 | 5. タクシー |
| 2. 自転車 | 6. 自家用車 (自分で運転する) |
| 3. バス | 7. 自家用車 (乗せてもらう) |
| 4. 電車 | 8. その他 () |

問 3 0 外出時における移動の支援などのお手伝いをする同行援護または移動支援事業などの障害福祉サービスを利用していますか。つぎの 1 ～ 5 の中からもっともあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 利用している | 4. 利用したことはなく、今後利用しない |
| 2. 今は利用していないが、過去に利用したことがある | 5. サービスについて知らない |
| 3. 利用したことはないが、今後利用したい | |

問 3 1 あなたが外 出 するうえで、なにか困っていることがありますか。つぎの 1 ～ 1 1 の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. バス・電車などが容易に利用できるよう改良されていない |
| 2. 乗物や公共施設の案内表示がわかりにくい |
| 3. 道路や駅に段差や階段、障害物などが多い |
| 4. 出入口や階段、トイレなど建物が容易に利用できるよう改良されていない |
| 5. 車などに危険を感じる |
| 6. まわりが気にかかる |
| 7. 支援者がいないので外 出 できない |
| 8. 人とのコミュニケーションがとりにくい |
| 9. ほとんど外 出 しないのでわからない |
| 10. とくに困ることはない |
| 11. その他 () |

問 3 2 ぶんか レジャーなどの活動についてお聞きします。

	(1) あなたは、この 1 年間にどのようなことをしましたか。a～j のそれぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。	(2) 今後、どのようなことをしたいと思いますか。a～j のそれぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。		
	1. した	2. しない	1. したい	2. したくない
a. コンサートの鑑賞や観劇など	1	2	1	2
b. スポーツ教室、大会などへの参加	1	2	1	2
c. 旅行・キャンプ・つりなど	1	2	1	2
d. 学習活動	1	2	1	2
e. 趣味の同好会への参加	1	2	1	2
f. ボランティアなどの社会活動	1	2	1	2
g. 障害のある仲間との交流 (ふれあい)	1	2	1	2
h. 町会・地域活動	1	2	1	2
i. 特にない	1	2	1	2
j. その他 ()	1	2	1	2

さいがいじ たいおう
■災害時の対応についてお聞きします。

問 3 3 あなたの災害時の対応についておたずねします。

(1) 地震などの災害時の避難場所を、あなたは知っていますか。

1. 知っている

2. 知らない

(2) 地震などの災害時に、あなたは一人で避難できますか。つぎの 1～3 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. できる

2. できない

3. わからない

(3) 家族が不在の場合または一人暮らしの場合、近所にあなただけを助けてくれる方はいますか。つぎの 1～3 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. いる

2. いない

3. わからない

- (4) 地震などの災害時にすぐに困ると思われることは何ですか。つぎの1～12の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 投薬や治療を受けられない
2. 補装具の使用が困難になる
3. 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる
4. 自分の状況が周囲の人に理解してもらえない
5. 安全なところまで、迅速に避難することができない
6. 被害状況、避難所の場所、物資の入手方法などの情報が入ってこない
7. 周囲の人とコミュニケーションがとれない
8. 避難所の設備（トイレなど）について不安
9. 家族の安否情報がとりづらい
10. 救助を求めることができない
11. とくにない
12. その他（ ）

問34 白山市では、災害時要援護者に対する支援として、災害時要援護者マップを作成しています。

- (1) このマップについて知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

- (2) では、災害時要援護者マップの作成に同意をされていますか。つぎの1～3の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|--------------------|------------------|
| 1. 同意している⇒問35へ | 2. 同意していない⇒問34(3)へ | 3. わからない⇒問34(3)へ |
|----------------|--------------------|------------------|

- (3) 【問34(2)で2か3と答えた方にのみお聞きします。】今後、マップ作成に同意するつもりはありますか。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 同意するつもりはない⇒問34(4)へ | 2. 同意するつもりだ⇒問35へ |
|-----------------------|------------------|

- (4) 【問34(3)で1と答えた方にのみお聞きします。】マップ作成に同意するつもりはない理由は何ですか。つぎの1～7の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--|
| 1. 支援が期待できないから | 5. 町内会や自主防災組織などが組織的な取り組みをしていないのでなんとなく不安だから |
| 2. 家族の支援を受けられるから | 6. 知っているが制度がよく理解できないため |
| 3. 個人情報を知られたくない | 7. その他（ ） |
| 4. 依頼できる支援者がいないから | |

■あなたの医療や福祉サービスなどについてお聞きします。

問35 あなたは医療のことで、なにか困っていることがありますか。つぎの1～7の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 通院するとき付き添いをしてくれる人がいない
2. 医師・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない
3. 医師・看護師などの指示などがむずかしくてよくわからない
4. 専門的な治療をしてくれる病院が近くにない
5. 医療費の負担が大きい
6. とくに困っていることはない
7. その他 ()

問36 あなたは医療・福祉サービスなどについてどちらに相談していますか。つぎの1～13の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 民生委員・児童委員 | 8. 社会福祉協議会 |
| 2. 身体障害者相談員 | 9. 介護保険のケアマネージャー |
| 3. 相談支援事業所・相談支援専門員 | 10. 同じ障害のある人の団体・グループ |
| 4. 市役所の相談窓口 | 11. 相談するところがない |
| 5. 保健所・福祉健康センター | 12. どこに相談に行ったらよいかわからない |
| 6. 医療機関 | 13. その他 () |
| 7. 障害福祉施設 | |

問37 あなたが、暮らしやすくなるために、とくにしてほしいことはどのようなことですか。つぎの1～17の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 毎日の生活の手助けがもっとほしい
2. 外出（買物など）の支援をしてほしい
3. 障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい
4. 障害のある人の働ける一般企業を増やしてほしい
5. 一般企業で働くことが難しいので、就労支援施設などを増やしてほしい
6. ジョブコーチ制度を充実させてほしい
7. リハビリ訓練の場所を増やしてほしい
8. 障害に適した設備を持った住宅を用意してほしい
9. 外出しやすい環境や交通機関の利便を図ってほしい
10. いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい
11. いつでも何でも話し合える相談相手や仲間がほしい
12. 年金などの経済的な援助を増やしてほしい
13. スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい
14. 福祉サービス制度をもっとわかりやすく紹介してほしい
15. 円滑なコミュニケーションができるように、障害の状況に応じた適切な支援を充実してほしい
16. とくにない
17. その他 ()

問38 つぎのサービスをボランティアが行うとしたら、あなたは、どれを受け入れたいと思いますか。つぎの1～10の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 調理 | 6. 病院などへの送迎・外出支援 |
| 2. 洗濯 | 7. 買い物 |
| 3. 部屋のそうじ・庭の手入れ | 8. 代筆・代読 |
| 4. 話し相手、相談相手 | 9. ボランティアのサービスは受け入れない |
| 5. 家屋内外の簡単な修理 | 10. その他（ ） |

■ここからは障害や差別についてお聞きします。

問39 障害に関する差別についてお聞きします。

(1) あなたはこれまでに障害があるために差別をされたと感じたことがありますか。

1. ある⇒問39(2)へ

2. ない⇒問40へ

(2) 【問39(1)で1と答えた方にのみお聞きします。】それはどのような分野での差別でしたか。つぎの1～9の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-------------|-----------|
| 1. 医療 | 4. 防災 | 7. 文化活動 |
| 2. 教育・療育 | 5. 情報バリアフリー | 8. 政治参加 |
| 3. 交通や建物のバリアフリー化 | 6. 行政手続き | 9. その他（ ） |

(3) それはどのような経験でしたか。さしつかえなければ、具体的にお教えてください。

問40 障害者権利条約では、障害のある人がない人と同じように生活するために過大な負担とならない範囲で行う配慮や工夫を「合理的配慮」としています。また、「合理的配慮」を行わないことは差別として位置づけられています。あなたは、このような「合理的配慮」について知っていましたか。つぎの1～3の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1. 合理的配慮の考え方について知っている |
| 2. 合理的配慮という言葉は聞いたことがある |
| 3. 合理的配慮については知らない |

問41 あなたは、障害のある人もない人も、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。つぎの1～3の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|---------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 言葉だけは知っている | 3. 知らない |
|----------|---------------|---------|

問 4 2 障害と仕事に関する次のような意見についてどう思いますか。a～dのそれぞれについて、つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	1. そう 思う おも	2. そう 思う おも どちらかといえ ば	3. ど ちら と も い え な い	4. ど ちら か と い え ば そう 思 わ な い おも	5. ど ちら か と い え ば そう 思 わ な い おも
a. 障害のある人の雇用をうながすためには、国や 地方自治体からの助成金が必要だ	1	2	3	4	5
b. 企業は、障害のある人が働きやすい環境を積極的 に整備しなければならない	1	2	3	4	5
c. 企業が、障害のある人にとって働きにくい職場の施設 を改善しないことは差別である	1	2	3	4	5
d. 障害のある人に特化した就労支援が必要である	1	2	3	4	5

問 4 3 障害のある人を支援するための政策として、以下にあげた政策のうち、もっとも重要なことはどれだとお考えですか。つぎの1～6の中から、もっとも重要なこと、その次に重要なことの番号を回答欄のなかに記入してください。

1. 障害のある人の権利や尊厳を守ること
2. 障害のある人が世間並みの生活ができるように経済的に援助すること
3. 障害のある人に働く機会を提供したり、働きやすい環境を整えたりすること
4. 障害のある人に世間並みの住居を提供すること
5. 障害のある人がさまざまな社会活動に参加することができるようにすること
6. 障害のある人をケアしている人を支援すること

もっとも重要なこと

つぎ次に重要なこと

問 4 4 白山市の人びとに対して、障害への理解を広めるために、どのような方法が有効だと思いますか。以下にご自由にご記入ください。

問45 あなたは障害に関する以下のことについて、どのように思いますか。a～fのそれぞれについて、つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	1. そう 思う おも	2. どちら かとい えは おも	3. ど ちら とも いえ ない	4. ど ちら かとい えは おも	5. そう 思 わ ない おも
a. 人の幸せと障害の有無は関係ないと思う ひと しあわ しょうがい う む かん おも	1	2	3	4	5
b. 障害のある人が望めば、障害のない人と同じ教育を受けられるようにすべきだ しょうがい ひと のぞ しょうがい ひと おな きょういく う	1	2	3	4	5
c. 「障害者」という表現は、不適切な表現であると指摘されることもあるため、別の表現に書き改める必要がある しょうがいじや ひょうげん ふてきせつ ひょうげん してき べつ ひょうげん か あらた ひつよう	1	2	3	4	5
d. 同じ時間働いたならば、障害のせいで成果が低かったとしても、障害のある人も障害のない人も同じ賃金であるべきだ おな じかんばたら しょうがい せいが ひく しょうがい ひと しょうがい ひと おな ちんぎん	1	2	3	4	5
e. 障害のある人も他の人と同じように責任や義務を果たすべきだ しょうがい ひと た ひと おな せきにん ぎむ は	1	2	3	4	5
f. たとえ負担が大きくなったとしても、障害のある人にもっと配慮した社会にすることが望ましい ふたん おお しょうがい ひと はいりよ しゃかい のぞ	1	2	3	4	5

■本調査に関して、ご意見などございましたらご記入ください。

以上で質問は終わりです。

何かご記入もれはありませんか。ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

お忙しいところ、貴重なお時間をさいいただきありがとうございました。

障害福祉に関する意識調査（障害のある児童）

単純集計表

問 1 このアンケートにご記入いただくのはどなたですか。つぎの 1～4 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
ご本人が記入	4	4.9
ご家族が代筆	26	31.7
ご家族がご本人に代わって回答	52	63.4
その他	0	0
合計(有効ケース)	82	100.0
無回答	1	
合計(全ケース)	83	

問 2 あなたの性別はどちらですか。つぎの中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください

	度数	%
男性	52	62.7
女性	31	37.3
合計(有効ケース)	83	100.0

問 3 あなたは白山市のどの地域にお住まいですか。つぎの 1～4 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
松任	53	63.9
美川	9	10.8
鶴来	19	22.9
河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰	2	2.4
合計(有効ケース)	83	100.0

問 4 あなたの年齢は何歳ですか。[2014(平成 26)年 10 月 1 日現在でお答えください]

	度数	%
1～6 歳	23	28.4
7～12 歳	28	34.6
13～15 歳	15	18.5
16～18 歳	15	18.5
合計(有効ケース)	81	100.0

問 5 あなたの世帯は、あなたを含めて何人家族ですか。

	度数	%
2	2	2.4
3	15	18.1
4	30	36.1
5	21	25.3
6	8	9.6
7	5	6.0
8	2	2.4
合計(有効ケース)	83	100.0

問 6 あなたが同居されているご家族を、つぎの 1～7 の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください

	度数	%
おとうさん	78	94.0
おかあさん	79	95.2
おじいさん	18	21.7
おばあさん	23	27.7
きょうだい	62	74.7
親戚の人	1	1.2
その他	1	1.2
合計(有効ケース)	83	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 7 あなたの住まいについてお聞きします。

(1) 現在のお住まいは、つぎのなかのどれですか。つぎの 1～6 の中からあてはまる番号 **1** つに○をつけてください。

	度数	%
持ち家(一戸建て住宅)	73	88.0
持ち家(集合住宅[マンションなど])	0	0
市営・県営などの公的賃貸住宅	3	3.6
グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム	1	1.2
民間の借家・賃貸アパート・マンション	5	6.0
その他(具体的に：)	1	1.2
合計(有効ケース)	83	100.0

(2) これからの生活をどこで送りたいですか。つぎの 1～7 の中からあてはまる番号 **1** つに○をつけてください。

	度数	%
持ち家(一戸建て住宅)	72	87.8
持ち家(集合住宅[マンションなど])	0	0
市営・県営などの公的賃貸住宅	0	0
グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム	2	2.4
民間の借家・賃貸アパート・マンション	3	3.7
入所施設	4	4.9
その他(具体的に：)	1	1.2
合計(有効ケース)	82	100.0
無回答	1	
合計(全ケース)	83	

問 8

(1) あなたは、療育手帳をお持ちですか。

	度数	%
持っている⇒問 8 (2) へ	61	73.5
持っていない⇒問 9 (1) へ	22	26.5
合計(有効ケース)	83	100.0

(2) 【問 **8 (1)** で **1** と答えた方

	度数	%
A	19	32.2
B1	19	32.2
B2	19	32.2
B としか分からない	2	3.4
合計(有効ケース)	59	100.0
無回答・非該当	24	
合計(全ケース)	83	

(3) あなたが療育手帳をはじめて取得したのは何歳ですか。

	度数	%
1～5 歳	35	59.3
6～10 歳	14	23.7
11～15 歳	10	16.9
合計(有効ケース)	59	100.0
無回答・非該当	24	
合計(全ケース)	83	

問 9

(1) あなたは、身体障害者手帳をお持ちですか

	度数	%
持っている⇒問 9 (2) へ	26	32.9
持っていない⇒問 10 (1) へ	53	67.1
合計(有効ケース)	79	100.0
無回答	4	
合計(全ケース)	83	

(2) 【問 9(1)で 1 と答えた方にのみお聞きます。】身体障害者手帳の等級は、総合等級では何級ですか。つぎの 1～6 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
1 級	13	50.0
2 級	6	23.1
3 級	6	23.1
4 級	0	0
5 級	0	0
6 級	1	3.8
合計(有効ケース)	26	100.0
無回答・非該当	57	
合計(全ケース)	83	

(3) では、あなたの障害はどのような障害ですか。つぎの 1～5 の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
視覚障害	1	3.4
聴覚障害、平衡機能障害	8	27.6
音声・言語機能障害、そしゃく機能障害	1	3.4
肢体不自由	14	48.3
内部障害	7	24.1
合計(有効ケース)	29	
無回答・非該当	54	
合計(全ケース)	83	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

(4) あなたの障害の原因はなんですか。つぎの 1～6 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
交通事故	0	0
労働災害	0	0
その他の事故	0	0
先天性(生まれつき)	21	80.8
疾病	1	3.8
その他	4	15.4
合計(有効ケース)	26	100.0
無回答・非該当	57	
合計(全ケース)	83	

(5) あなたが身体障害者手帳をはじめて取得したのは何歳でしたか。

	度数	%
1	4	26.7
2	5	33.3
3	2	13.3
4	3	20.0
5	1	6.7
合計(有効ケース)	15	100.0
無回答・非該当	68	
合計(全ケース)	83	

問 10

(1) あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

	度数	%
持っている⇒問 10(2)へ	4	5.3
持っていない⇒問 11 へ	71	94.7
合計(有効ケース)	75	100.0
無回答	8	
合計(全ケース)	83	

(2) 【問 10(1)で 1 と答えた方にのみお聞きます。】では、精神障害者保健福祉手帳の等級は、何級ですか。つぎの 1～3 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
1 級	0	0
2 級	4	100.0
3 級	0	0
合計(有効ケース)	4	100.0
無回答・非該当	79	
合計(全ケース)	83	

(3)あなたが精神障害者保健福祉手帳をはじめて取得したのは何歳でしたか。

	度数	%
4	1	25.0
9	1	25.0
11	1	25.0
15	1	25.0
合計(有効ケース)	4	100.0
無回答・非該当	79	
合計(全ケース)	83	

問 11 あなたは難病(特定疾患)の認定を受けていますか。

	度数	%
はい	6	8.7
いいえ	63	91.3
合計(有効ケース)	69	100.0
無回答	14	
合計(全ケース)	83	

問 12 あなたは発達障害(自閉症、学習障害など)の診断を受けていますか。

	度数	%
はい	39	54.9
いいえ	32	45.1
合計(有効ケース)	71	100.0
無回答	12	
合計(全ケース)	83	

問 13 あなたは、どのようなときに、どなたの支援が必要ですか。

- (1) 支援が必要と思うのは、どのようなときですか。a～mのそれぞれについて、つぎの1～3の中から
最もともあてはまる番号1つに○をつけてください。

a. 食事をするとき

	度数	%
自分ができる	44	53.0
ときどき支援が必要	21	25.3
常に支援が必要	18	21.7
合計(有効ケース)	83	100.0

b. トイレを利用するとき

	度数	%
自分ができる	37	44.6
ときどき支援が必要	22	26.5
常に支援が必要	24	28.9
合計(有効ケース)	83	100.0

c. 薬を飲んだり保管するとき

	度数	%
自分ができる	12	14.5
ときどき支援が必要	16	19.3
常に支援が必要	55	66.3
合計(有効ケース)	83	100.0

d. 入浴するとき

	度数	%
自分ができる	27	32.5
ときどき支援が必要	20	24.1
常に支援が必要	36	43.4
合計(有効ケース)	83	100.0

e. 着替えをするとき

	度数	%
自分ができる	35	42.7
ときどき支援が必要	22	26.8
常に支援が必要	25	30.5
合計(有効ケース)	82	100.0
無回答	1	
合計(全ケース)	83	

f. 掃除・洗濯をするとき

	度数	%
自分ができる	5	6.1
ときどき支援が必要	15	18.3
常に支援が必要	62	75.6
合計(有効ケース)	82	100.0
無回答	1	
合計(全ケース)	83	

g. 炊事をするとき

	度数	%
自分ができる	5	6.2
ときどき支援が必要	8	9.9
常に支援が必要	68	84.0
合計(有効ケース)	81	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

h. 外出するとき

	度数	%
自分ができる	9	10.8
ときどき支援が必要	12	14.5
常に支援が必要	62	74.7
合計(有効ケース)	83	100.0

i. 家の中で移動するとき

	度数	%
自分ができる	54	65.1
ときどき支援が必要	17	20.5
常に支援が必要	12	14.5
合計(有効ケース)	83	100.0

j. 家族以外の人とコミュニケーションするとき

	度数	%
自分ができる	19	23.2
ときどき支援が必要	41	50.0
常に支援が必要	22	26.8
合計(有効ケース)	82	100.0
無回答	1	
合計(全ケース)	83	

k. 生活費などのお金の管理

	度数	%
自分ができる	2	2.5
ときどき支援が必要	8	9.9
常に支援が必要	71	87.7
合計(有効ケース)	81	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

1. 日常の暮らしに必要な事務手続き

	度数	%
自分ができる	2	2.5
ときどき支援が必要	6	7.5
常に支援が必要	72	90.0
合計(有効ケース)	80	100.0
無回答	3	
合計(全ケース)	83	

m. 緊急時に避難・連絡したいとき

	度数	%
自分ができる	2	2.4
ときどき支援が必要	10	12.2
常に支援が必要	70	85.4
合計(有効ケース)	82	100.0
無回答	1	
合計(全ケース)	83	

問 14 あなたの日常生活上の主な支援者についておたずねします。

(1) 主な支援者はつぎのうちどなたですか。つぎの1～12の中から最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
配偶者	4	4.9
子ども	1	1.2
子どもの配偶者	0	0
自分の父母	71	86.6
配偶者の父母	0	0
自分の兄弟姉妹	2	2.4
配偶者の兄弟姉妹	0	0
自分の祖父母	2	2.4
配偶者の祖父母	0	0
孫	0	0
支援者はいない⇒問 17へ	0	0
その他	2	2.4
合計(有効ケース)	82	100.0
無回答	1	
合計(全ケース)	83	

(2) 主な支援者に対して必要だと思われるケアやサポートがありますか。つぎの 1～10 の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
仕事ができるようなサポート	40	49.4
外出できるようなサポート	19	23.5
代わりに支援を頼めること	40	49.4
支援者本人が自分の時間を持てるようにすること	19	23.5
支援の方法に関するアドバイス	32	39.5
経済的な援助	33	40.7
相談する相手	30	37.0
緊急時のサポート	36	44.4
特にない	9	11.1
その他	1	1.2
合計(有効ケース)	81	
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

(3) 主な支援者が高齢、病気などで将来支援ができなくなった場合は、どうしますか。つぎの 1～5 の中から最もあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
親族の支援を受ける	24	30.4
ホームヘルパーを利用し、自宅で暮らしたい	17	21.5
グループホーム・ケアホーム・福祉ホームで暮らしたい	17	21.5
施設に入所する	13	16.5
その他	8	10.1
合計(有効ケース)	79	100.0
無回答	4	
合計(全ケース)	83	

問 15 あなたは悩みや困ったことがある場合、どちらに相談されますか。つぎの 1～22 の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
家族	69	85.2
親戚	7	8.6
友人・知人	18	22.2
市役所、児童相談所などの行政機関	20	24.7
障害者団体、患者団体や家族会	9	11.1
民生委員・児童委員	0	0
障害者相談員	9	11.1
相談支援事業所	11	13.6
施設や作業所の職員	10	12.3
グループホームの世話人	2	2.5
居宅介護のヘルパー	0	0
発達相談センター	14	17.3
配偶者の兄弟姉妹	0	0
高齢者支援センター	0	0
社会福祉協議会	1	1.2
医師や看護師などの医療関係者	13	16.0
学校の先生	33	40.7
職場の人	2	2.5
障害者就業・生活支援センター	5	6.2
相談したいができない(しない)	4	4.9
悩みや困ったことはない	2	2.5
その他	3	3.7
合計(有効ケース)	81	
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 16 自宅で入浴、排せつ、食事などの支援・介助を受けたり、調理、洗濯、掃除などの支援を受けた
りする居宅介護ホーム(ヘルパーサービス)の利用について、あてはまる番号に○をつけてください。
つぎの 1～5 の中からのもっともあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
利用している	1	1.3
今は利用していないが、利用したことはある	2	2.5
利用したことはないが、今後利用したい	14	17.5
利用したことはなく、今後も利用しない	25	31.3
サービスについて知らない	38	47.5
合計(有効ケース)	80	100.0
無回答	3	
合計(全ケース)	83	

問 17

(1) あなたは、どちらに通園・通学(在宅訪問教育も含む)されていますか。つぎの 1～12 の中からあ
てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
障害児通所施設	3	3.6
幼稚園	1	1.2
保育園	12	14.5
認定こども園	0	0
小学校・小学部	30	36.1
中学校・中学部	16	19.3
高等学校・高等部	16	19.3
専門学校・専修学校・各種学校	0	0
職業訓練校	0	0
仕事をしている	0	0
就園・就学しないで家にいる	5	6.0
その他	0	0
合計(有効ケース)	83	100.0

(2) 【問 17(1)で 5～7 と答えた方のみお答えください】では、通われているのはどれにあたりますか。
つぎの 1～3 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
通常の学級	8	13.1
特別支援学級	38	62.3
特別支援学校	15	24.6
合計(有効ケース)	61	100.0
無回答・非該当	22	
合計(全ケース)	83	

問 18 通園・通学などできずに困っていることがありますか。つぎの 1～11 の中からあてはまる番号
すべてに○をつけてください。

	度数	%
通うのに付き添いが必要	18	24.0
授業についていけない・よくわからない	9	12.0
設備などが障害のある児童に配慮されていない	7	9.3
学校内・園内での介助が十分でない	8	10.7
友だちができない	8	10.7
先生の配慮や生徒たちの理解が得られない	8	10.7
「特別支援学級」に入れてもらえない	0	0
「通常の学級」に入れてもらえない	5	6.7
教科指導が十分に受けられない	5	6.7
とくに困っていることはない	33	44.0
その他	7	9.3
合計(有効ケース)	75	
無回答	8	
合計(全ケース)	83	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 19 学校で勉強する場合にどのような形を望みますか。つぎの 1～4 の中からのもっともあてはまる番
号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
障害のあるなしに関わらず一緒にのクラスで勉強したい	18	24.3
同じような障害のある仲間たちのクラスで勉強したい	11	14.9
障害のある仲間たちのクラスで勉強しながら、障害のない仲間たちとも勉強する機会を持ちたい	39	52.7
その他	6	8.1
合計(有効ケース)	74	100.0
無回答・非該当	9	
合計(全ケース)	83	

問 20 放課後に児童を必ずやる放課後児童クラブについてお聞きします。放課後児童クラブを障害のある児童が利用することについて、つぎの 1～7 の中から最もあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
放課後児童クラブに通っている。または通っていた	16	20.8
いままでは利用していないが、これからは利用したい	0	0
小学校へ入学したら利用したい	9	11.7
希望したが、入れてもらえなかった。	2	2.6
希望はしない。または、希望しなかった。	39	50.6
放課後児童クラブを知らない。または知らないかった	6	7.8
その他	5	6.5
合計(有効ケース)	77	100.0
無回答・非該当	6	
合計(全ケース)	83	

問 21 放課後や夏休みなどの長期休暇中に障害のある児童が利用する放課後等デイサービスについてお聞きします。放課後等デイサービスを利用することについて、つぎの 1～7 の中から最もあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
放課後等デイサービスに通っている。または通っていた	38	50.0
いままでは利用していないが、これからは利用したい	5	6.6
小学校へ入学したら利用したい	5	6.6
希望したが、入れてもらえなかった。	0	0
希望はしない。または、希望しなかった。	10	13.2
放課後等デイサービスを知らない。または知らなかった	15	19.7
その他	3	3.9
合計(有効ケース)	76	100.0
無回答・非該当	7	
合計(全ケース)	83	

問 22 今の学校を卒業したあとのことを、どのように考えていますか。つぎの 1～9 の中から最もあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
高校・大学・専門学校などに進学したい	6	7.8
通常の学級に進学したい	12	15.6
特別支援学級・特別支援学校などに進学したい	32	41.6
施設に入りたい	3	3.9
施設に通いたい	3	3.9
就職したい	12	15.6
家にいたい	0	0
特に考えていない	4	5.2
その他	5	6.5
合計(有効ケース)	77	100.0
無回答・非該当	6	
合計(全ケース)	83	

問 23 【問 17(1)で 11 と答えた方へのみお聞きします。】

(1) 家にいる理由は何ですか。つぎの 1～6 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
まだ学校に通う年齢になっていないから	2	40.0
受け入れてくれる幼稚園・保育園・障害児通所施設(児童発達支援)がないから	0	0
受け入れてくれる学校がないから	0	0
就園・就学できる健康状態ではないから	2	4.0
就園・就学したくないから	0	0
その他	1	20.0
合計(有効ケース)	5	100.0
無回答・非該当	78	
合計(全ケース)	83	

(2) 今後はどのようにしたいと思いますか。つぎの 1～4 の中から最もあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
障害児通所施設(児童発達支援)に通いたい	1	20.0
幼稚園・保育園・学校に通いたい	4	80.0
このまま家にいたい	0	0
その他	0	0
合計(有効ケース)	5	100.0
無回答・非該当	78	
合計(全ケース)	83	

問 24 【問 17(1)で 10 と答えた方へのみお聞きします。】あなたは現在、どのような形で働いていますか。つぎの 1～6 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
常勤(正規の職員・社員)	0	0
パート、アルバイト、臨時雇い(派遣社員を含む)	0	0
家の仕事(自営業、手伝い)	0	0
就労移行支援・就労継続支援・作業所など	0	0
内職	0	0
その他	0	0
合計(有効ケース)	0	0
無回答・非該当	83	
合計(全ケース)	83	

問 25 【ここからまたすべての人にお聞きします】高等学校・高等部卒業後、あなたはどのように暮らしたいとお考えですか。つぎの 1～5 の中からともともあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
家族と一緒に自宅で暮らしたい	59	76.6
家族から独立して暮らしたい	7	9.1
グループホーム・ケアホームで暮らしたい	3	3.9
入所施設に入りたい	4	5.2
その他	4	5.2
合計(有効ケース)	77	100.0
無回答	6	
合計(全ケース)	83	

問 26 あなたは過去 1 年間にどれくらい外出しましたか。つぎの 1～6 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
ほぼ毎日	59	71.1
週に 4～5 回	13	15.7
週に 2～3 回	3	3.6
月に 3～4 回	5	6.0
月に 1～2 回	1	1.2
ほとんど外出していない	2	2.4
合計(有効ケース)	83	100.0

問 27 あなたの主な外出先・要件はどちらですか。つぎの 1～10 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
通院	3	3.6
通学・通勤	63	75.9
買い物	9	10.8
親戚・友人・知人宅	1	1.2
役所	0	0
金融機関	0	0
団体等の会議・催し	1	1.2
余暇活動	0	0
デイサービスなどの福祉施設	4	4.8
その他	2	2.4
合計(有効ケース)	83	100.0

問 28 あなたは外出されるとき、主にどなたと外出されますか。つぎの 1～9 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
単独(白杖歩行・盲導犬を含む)	12	14.6
家族・親戚	57	69.5
ガイドヘルパー	2	2.4
ホームヘルパー	0	0
デイなどの施設の職員	3	3.7
友人・知人	3	3.7
近所の人	1	1.2
ボランティア	0	0
その他	4	4.9
合計(有効ケース)	82	100.0
無回答	1	
合計(全ケース)	83	

問 29 あなたの外出のときの主な移動手段は何ですか。つぎの 1～8 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
徒歩	13	16.0
自転車	5	6.2
バス	1	1.2
電車	5	6.2
タクシー	0	0
自家用車(自分で運転する)	1	1.2
自家用車(乗せてもらう)	54	66.7
その他	2	2.5
合計(有効ケース)	81	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

問 30 外出時における移動の支援などのお手伝いをする同行援護または移動支援事業などの障害福祉サービスを利用していますか。つぎの 1～5 の中からもっともあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
利用している	17	21.3
今は利用していないが、過去に利用したことがある	2	2.5
利用したことはないが、今後利用したい	19	23.8
利用したことはなく、今後も利用しない	13	16.3
サービスについて知らない	29	36.3
合計(有効ケース)	80	100.0
無回答	3	
合計(全ケース)	83	

問 31 あなたが外出するうえで、なにか困っていることがありますか。つぎの 1～11 の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
バス・電車などが容易に利用できるよう改良されていない	12	16.0
乗り物や公共施設の案内表示がわかりにくい	10	13.3
道路や駅に段差や階段、障害物などが多い	7	9.3
出入り口や階段、トイレなど建物が用意に利用できるよう改良されていない	10	13.3
車などに危険を感じる	21	28.0
まわりが気にかかる	16	21.3
支援者がいないので外出できない	5	6.7
人とのコミュニケーションがとりにくい	24	32.0
ほとんど外出しないのでわからない	3	4.0
とくに困ることはない	23	30.7
その他	5	6.7
合計(有効ケース)	75	
無回答	8	
合計(全ケース)	83	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 32 文化やレジャーなどの活動についてお聞きします。

(1) あなたは、この 1 年間にどのようなことをしましたか。a～j のそれぞれについてあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

a. コンサートの鑑賞や観劇など

	度数	%
した	29	39.2
しない	45	60.8
合計(有効ケース)	74	100.0
無回答	9	
合計(全ケース)	83	

b. スポーツ教室、大会などへの参加

	度数	%
した	33	44.6
しない	41	55.4
合計(有効ケース)	74	100.0
無回答	9	
合計(全ケース)	83	

c. 旅行・キャンプ・つりなど

	度数	%
した	50	606.7
しない	25	33.3
合計(有効ケース)	75	100.0
無回答	8	
合計(全ケース)	83	

d. 学習活動

	度数	%
した	46	62.2
しない	28	37.8
合計(有効ケース)	74	100.0
無回答	9	
合計(全ケース)	83	

e. 趣味の同好会への参加

	度数	%
した	9	12.5
しない	63	87.5
合計(有効ケース)	72	100.0
無回答	11	
合計(全ケース)	83	

f. ボランティアなどの社会活動

	度数	%
した	10	14.1
しない	61	85.9
合計(有効ケース)	71	100.0
無回答	12	
合計(全ケース)	83	

g. 障害のある仲間との交流(ふれあい)

	度数	%
した	48	64.0
しない	27	36.0
合計(有効ケース)	75	100.0
無回答	8	
合計(全ケース)	83	

h. 町会・地域活動

	度数	%
した	44	60.3
しない	29	39.7
合計(有効ケース)	73	100.0
無回答	10	
合計(全ケース)	83	

i. 特にない

	度数	%
した	3	14.3
しない	18	85.7
合計(有効ケース)	22	100.0
無回答	61	
合計(全ケース)	83	

j. その他

	度数	%
した	1	5.9
しない	16	94.1
合計(有効ケース)	17	100.0
無回答	66	
合計(全ケース)	83	

(2) 今後、どのようなことをしたいと思いますか。a～j のそれぞれについてあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

a. コンサートの鑑賞や観劇など

	度数	%
したい	56	80.0
したくない	14	20.0
合計(有効ケース)	70	100.0
無回答	13	
合計(全ケース)	83	

b. スポーツ教室、大会などへの参加

	度数	%
したい	50	71.4
したくない	20	28.6
合計(有効ケース)	70	100.0
無回答	13	
合計(全ケース)	83	

c. 旅行・キャンプ・つりなど

	度数	%
したい	59	84.3
したくない	11	15.7
合計(有効ケース)	70	100.0
無回答	13	
合計(全ケース)	83	

d. 学習活動

	度数	%
したい	49	74.2
したくない	17	25.8
合計(有効ケース)	66	100.0
無回答	17	
合計(全ケース)	83	

e. 趣味の同好会への参加

	度数	%
したい	37	56.9
したくない	28	43.1
合計(有効ケース)	65	100.0
無回答	18	
合計(全ケース)	83	

f. ボランティアなどの社会活動

	度数	%
したい	31	48.4
したくない	33	51.6
合計(有効ケース)	64	100.0
無回答	19	
合計(全ケース)	83	

g. 障害のある仲間との交流(ふれあい)

	度数	%
したい	52	78.8
したくない	14	21.2
合計(有効ケース)	66	100.0
無回答	17	
合計(全ケース)	83	

h. 町会・地域活動

	度数	%
したい	50	78.1
したくない	14	21.9
合計(有効ケース)	64	100.0
無回答	19	
合計(全ケース)	83	

i. 特 に ない

	度数	%
したい	3	17.6
したくない	14	82.4
合計(有効ケース)	17	100.0
無回答	66	
合計(全ケース)	83	

j. その他

	度数	%
したい	3	18.8
したくない	13	81.3
合計(有効ケース)	16	100.0
無回答	67	
合計(全ケース)	83	100.0

問 33 あなたの災害時の対応についておたずねします。

(1) 地震などの災害時の避難場所を、あなたは知っていますか。

	度数	%
知っている	27	33.3
知らない	54	66.7
合計(有効ケース)	81	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

(2) 地震などの災害時に、あなたは一人で避難できますか。つぎの 1～3 の中からあてはまる番号 1

つに○をつけてください。

	度数	%
できる	3	3.7
できない	62	76.5
わからない	16	19.8
合計(有効ケース)	81	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

(3) 家族が不在の場合または一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる方はいませんか。つぎの 1～3 の中からあてはまる番号 1つに○をつけてください。

	度数	%
いる	18	22.5
いない	31	38.8
わからない	31	38.8
合計(有効ケース)	80	100.0
無回答	3	
合計(全ケース)	83	

(4) 地震などの災害時にすぐ困ると思うれることは何ですか。つぎの 1～12 の中からあてはまる番号 すべてに○をつけてください。

	度数	%
投票や治療を受けられない	20	25.0
補装具の使用が困難になる	11	13.8
補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	13	16.3
自分の状況が周囲の人に理解してもらえない	43	53.8
安全なところまで、迅速に避難することができない	50	62.5
被害状況、避難所の場所、物資の入手方法などの情報が入ってこない	24	30.0
周囲の人とコミュニケーションがとれない	46	57.5
避難所の設備について不安	27	33.8
家族の安否情報がとりづらい	37	46.3
救助を求めることができない	41	51.2
とくにならない	1	1.3
その他	5	6.3
合計(有効ケース)	80	
無回答	3	
合計(全ケース)	83	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 34 白山市では、災害時要援護者に対する支援として、災害時要援護者マップを作成しています。

(1) このマップを知っていますか。

	度数	%
知っている	29	35.4
知らない	53	64.6
合計(有効ケース)	82	100.0
無回答	1	
合計(全ケース)	83	

(2) では災害時要援護者マップの作成に同意されていますか。つぎの1～3の中からあてはまる**番号 1** つに○をつけてください。

	度数	%
同意している⇒問 35 へ	21	25.9
同意していない⇒問 34(3) へ	9	11.1
分からない⇒問 34(3) へ	51	63.0
合計(有効ケース)	81	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

(3) 【問 34(2)で 2 か 3 と答えた方にのみお聞きします。】今後、マップ作成に同意するつもりはありますか。

	度数	%
同意するつもりはない⇒問 34(4) へ	14	24.1
同意するつもりだ⇒問 35 へ	44	75.9
合計(有効ケース)	58	100.0
無回答	25	
合計(全ケース)	83	

(4) 【問 34(3)で 1 と答えた方にのみお聞きします。】マップ作成に同意するつもりはない理由は何ですか。つぎの 1～7の中からあてはまる**番号すべてに**○をつけてください。

	度数	%
支援が期待できないから	0	0
家族の支援を受けられるから	8	50.0
個人情報を知られたくない	4	25.0
依頼できる支援者がいないから	1	6.3
町内会や自主防災組織などが組織的な取り組みをしていないのでなんとなく不安だから	0	0
知っているが制度がよく理解できないため	5	31.3
その他	2	12.5
合計(有効ケース)	16	
無回答・非該当	67	
合計(全ケース)	83	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 35 あなたの医療のことで、なにか困っていることがありますか。つぎの1～7の中からあてはまる**番号すべてに**○をつけてください。

	度数	%
通院するとき付き添いをしてくれる人がいない	2	2.6
意思・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない	17	21.8
医師・看護師などの指示などがむずかしくてよくわからない	10	12.8
専門的な治療をしてくれる病院が近くにない	14	17.9
医療費の負担が大きい	4	5.1
とくに困っていることはない	41	52.6
その他	7	9.0
合計(有効ケース)	78	
無回答	5	
合計(全ケース)	83	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 36 あなたは医療・福祉サービスなどについてどちらに相談していますか。つぎの 1～13の中からあてはまる**番号すべてに**○をつけてください。

	度数	%
民生委員・児童委員	2	2.5
身体障害者相談員	3	3.7
相談支援事業所・相談支援専門員	26	32.1
市役所の相談窓口	34	42.0
保健所・福祉健康センター	11	13.6
医療機関	28	34.6
障害福祉施設	17	21.0
社会福祉協議会	2	2.5
介護保険のケアマネジャー	0	0
同じ障害のある人の団体・グループ	17	21.0
相談するところがない	2	2.5
どこに相談に行ったらよいかわからない	9	11.1
その他	4	4.9
合計(有効ケース)	81	
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 37 あなたが、暮らしやすくなるために、とくにしてほしいことはどのようなことですか。つぎの 1 ～17の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
毎日の生活の手助けがもっとほしい	11	13.4
外出の支援をしてほしい	7	8.5
障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい	49	59.8
障害のある人の働ける一般企業を増やしてほしい	45	54.9
一般企業で働くことが難しいので、就労支援施設などを増やしてほしい	33	40.2
ジョブコーチ制度を充実させてほしい	26	31.7
リハビリ訓練の場所を増やしてほしい	21	25.6
障害に適した設備を持った住宅を用意してほしい	11	13.4
外出しやすい環境や交通機関の利便を図ってほしい	22	26.8
いつでもなんでも相談できる窓口を用意してほしい	22	26.8
いつでも何でも話し合える相談相手や仲間がほしい	18	22.0
年金などの経済的な援助を増やしてほしい	35	42.7
スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい	18	22.0
福祉サービス制度をもっとわかりやすく紹介してほしい	37	45.1
円滑なコミュニケーションができるように、障害の状況に応じた適切な支援を充実してほしい	37	45.1
とくにならない	6	7.3
その他	8	9.8
合計(有効ケース)	82	
無回答	1	
合計(全ケース)	83	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 38 つぎのサービスをボランティアが行うとしたら、あなたは、どれを受け入れたいと思いますか。つぎの 1～10の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
調理	16	21.3
洗濯	11	14.7
部屋の掃除・庭の手入れ	11	14.7
話し相手、相談相手	16	21.3
家屋内外の簡単な修理	7	9.3
病院などへの送迎・外出支援	32	42.7
買い物	19	25.3
代筆・代読	10	13.3
ボランティアのサービスは受け入れない	8	10.7
その他	13	17.3
合計(有効ケース)	75	
無回答	8	
合計(全ケース)	83	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 39 障害に関する差別についてお聞きします。

(1) あなたはこれまでに障害があるために差別をされたと感じたことがありますか。

	度数	%
ある⇒問 39(2)へ	38	46.9
ない⇒問 40へ	43	53.1
合計(有効ケース)	81	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

問 39(1)で 1 と答えた方へのみお聞きします。】それはどのような分野での差別でしたか。つぎの 1～の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
医療	5	13.2
教育・療育	29	76.3
交通や建物のバリアフリー化	2	5.3
防災	0	0
情報バリアフリー	2	5.3
行政手続き	4	10.5
文化活動	5	13.2
政治参加	0	0
その他	7	18.4
合計(有効ケース)	38	
無回答・非該当	45	
合計(全ケース)	83	

＊、%は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 40 それはどのような経験でしたか。さしつかえなければ、具体的にお教えください。

	度数	%
記述なし	15	37.5
記述あり	25	62.5
合計(有効ケース)	40	100.0
無回答・非該当	43	
合計(全ケース)	83	

問 40 障害者権利条約では、障害のある人がない人と同じように生活するために過大な負担とならない範囲で行う配慮や工夫を「合理的配慮」としています。また、「合理的配慮」を行わないことは差別として位置づけられています。あなたは、このような「合理的配慮」について知っていましたか。つぎの 1～3 の中からもっともあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
合理的配慮の考え方について知っている	5	6.2
合理的配慮という言葉は聞いたことがある	7	8.6
合理的配慮について知らない	69	85.2
合計(有効ケース)	81	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

問 41 あなたは、障害のある人もない人も、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。つぎの 1～3 の中からもっともあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
知っている	15	18.1
言葉だけは知っている	15	18.1
知らない	53	63.9
合計(有効ケース)	83	100.0

問 42 障害と仕事に関する次のような意見についてどう思いますか。a～d のそれぞれについて、つぎの 1～5 の中からもっともあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

a．障害のある人の雇用をうながすためには、国や地方自治体からの助成金が必要だ

	度数	%
そう思う	45	55.6
どちらかといえばそう思う	17	21.0
どちらともいえない	17	21.0
どちらかといえばそう思わない	2	2.5
そう思わない	0	0
合計(有効ケース)	81	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

b．企業は、障害のある人が働きやすい環境を積極的に整備しなければならぬ

	度数	%
そう思う	42	51.9
どちらかといえばそう思う	17	21.0
どちらともいえない	21	25.9
どちらかといえばそう思わない	1	1.2
そう思わない	0	0
合計(有効ケース)	81	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

c. 企業が、障害のある人にとって働きにくい職場の施設を改善しないことは差別である

	度数	%
そう思う	31	38.3
どちらかといえばそう思う	16	19.8
どちらともいえない	28	34.6
どちらかといえばそう思わない	3	3.7
そう思わない	3	3.7
合計(有効ケース)	81	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

d. 障害のある人に特化した就労支援が必要である。

	度数	%
そう思う	49	60.5
どちらかといえばそう思う	18	22.2
どちらともいえない	11	13.6
どちらかといえばそう思わない	2	2.5
そう思わない	1	1.2
合計(有効ケース)	81	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	83	

問 43 障害のある人を支援するための政策として、以下にあげた政策のうち、もっとも重要なことはどれだとお考えですか。つぎの1～6の中から、**もっとも**重要なこと、**その次に**重要なことの番号を回答欄のなかに記入してください。

もっとも重要なこと

	度数	%
障害のある人の権利や尊厳を守ること	27	33.8
障害のある人が世間並みの生活ができるように経済的に援助すること	17	21.3
障害のある人に働く機会を提供したり、働きやすい環境を整えたりすること	29	36.3
障害のある人に世間並みの住居を提供すること	1	1.3
障害のある人がさまざまな社会活動に参加することができるようにすること	1	1.3
障害のある人をケアしている人を支援すること	5	6.3
合計(有効ケース)	80	100.0
無回答	3	
合計(全ケース)	83	

次に重要なこと

	度数	%
障害のある人の権利や尊厳を守ること	4	5.1
障害のある人が世間並みの生活ができるように経済的に援助すること	21	26.9
障害のある人に働く機会を提供したり、働きやすい環境を整えたりすること	23	29.5
障害のある人に世間並みの住居を提供すること	2	2.6
障害のある人がさまざまな社会活動に参加することができるようにすること	10	12.8
障害のある人をケアしている人を支援すること	18	23.1
合計(有効ケース)	78	100.0
無回答	5	
合計(全ケース)	83	

問 44 白山市の人々に対して、障害への理解を広げるために、どのような方法が有効だと思えますか。以下に自由にご記入ください。

	度数	%
記入なし	52	62.7
記入あり	31	37.3
合計(有効ケース)	83	100.0

問 45 あなたは障害に関する以下のことについて、どのように思いますか。a～fのそれぞれについて、つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号**1つに**○をつけてください。

a. 人の幸せと障害の有無は関係ないと思う

	度数	%
そう思う	34	43.0
どちらかといえばそう思う	17	21.5
どちらともいえない	17	21.5
どちらかといえばそう思わない	3	3.8
そう思わない	8	10.1
合計(有効ケース)	79	100.0
無回答	4	
合計(全ケース)	83	

b. 障害のある人が望めば、障害のない人と同じ教育を受けられるようにすべきだ

	度数	%
そう思う	40	50.6
どちらかといえばそう思う	23	29.1
どちらともいえない	12	15.2
どちらかといえばそう思わない	3	3.8
そう思わない	1	1.3
合計(有効ケース)	79	100.0
無回答	4	
合計(全ケース)	83	

c. 「障害者」という表現は不適切な表現であると指摘されることがあるため、別の表現に書き改める必要がある

	度数	%
そう思う	16	20.3
どちらかといえばそう思う	19	24.1
どちらともいえない	27	34.2
どちらかといえばそう思わない	9	11.4
そう思わない	8	10.1
合計(有効ケース)	79	100.0
無回答	4	
合計(全ケース)	83	

d. 同じ時間働いたならば、障害のせいで成果が低かったとしても、障害のある人も障害のない人も同じ賃金であるべきだ

	度数	%
そう思う	21	26.9
どちらかといえばそう思う	13	16.7
どちらともいえない	24	30.8
どちらかといえばそう思わない	15	19.2
そう思わない	5	6.4
合計(有効ケース)	78	100.0
無回答	5	
合計(全ケース)	83	

e. 障害のあるひとと他の人と同じように責任や義務を果たすべきだ

	度数	%
そう思う	8	10.3
どちらかといえばそう思う	19	24.4
どちらともいえない	31	39.7
どちらかといえばそう思わない	8	10.3
そう思わない	12	15.4
合計(有効ケース)	78	100.0
無回答	5	
合計(全ケース)	83	

f. たとえ負担が大きくなったとしても、障害のある人にもっと配慮した社会にすることが望ましい

	度数	%
そう思う	29	36.7
どちらかといえばそう思う	25	31.6
どちらともいえない	20	25.3
どちらかといえばそう思わない	3	3.8
そう思わない	2	2.5
合計(有効ケース)	79	100.0
無回答	4	
合計(全ケース)	83	

■本調査に関して、ご意見などございましたらご記入ください。

	度数	%
記入なし	54	65.1
記入あり	29	34.9
合計(有効ケース)	83	100.0

スイミングクラブの入会を断わられた
・産院で障害が分かり、医師から「ろくな子に育たない」等と否定的に言われた。・学校では行政からの指示のもと、支援学級の生徒は交流学級の付け足しの様な扱いを受ける。(書類、名簿など) 子ども同士に差別意識は無いのに大人がその邪魔をしているように思える。・校長先生が変わると扱いが急に変わり、子どもともまどどっている。
どうしても大きな声が出てしまうのでお店の人に注意を受けたり、他のお客さんから怒鳴られたり、にらまれたりした。
6. 支援サービスの申請時に意思の伝えられない人に移動支援サービスは提供できないと言われてしまった。サービスを受けることに対してからかわれた。2. 部活動の参加を拒まれ、予定表など配布されない。発表会等は本人にも他の部員にも観覧席の方々にもマイナスだと言われたこと。1. 産前検査にて多重奇形と診断され、医師の方から処置を施さない方がいいと提案されたこと。
・クレインのプールで係員に大きな声で騒ぐな、プールのすみで遊べと言われた。・バードハミングのプールがなくなった。障害者が唯一リハビリをかねて遊べるプールであったがなくなった。新聞などで問題視されたが市長の方針で却下された。健生児しか利用できない野球場を建設予定である。障害者が利用出来る施設がなくなっている。
障害が目に見えて分らない為障害がある事身体を分かってももらえない。その為、健常者と同じ事を求められる。
保育園が加配の先生を、おねがいがいるにあたり療育手帳をとるように言われました。当然の事なのですが…すぐく、つらい気持ちになりました。
学校にエレベーターが設置されていない。学校に入学するだけなのに教育委員会との話し合いがあること。
差別とは違うが予防接種を個人で受けに行くと、あばれて受けられないので特別支援学校内か、障がいのある子にも接種できるような場を作ってほしい。
普通校（小学校）の教師は、障害の理解が乏しい。ものを扱うように1日つききりである特別支援学級の教師の対応に差別を感じた。

障害福祉に関する意識調査(障害のある児童) 記述回答一覧 ※ 同一文言による回答は一つのみ記載した。
問37(3) 障害に関する差別についてお聞きます。あなたはこれまでに障害があるために差別をされたと感じたことがありますか。それはどのような経験でしたか。さしつかえなければ、具体的にお教えください。
小学校内で、子供同士につきあいの中で、軽い仲間外れのたぐいのもの。親切な友達がいらない。
学校で係のグループぎめにさんかできなかったらクラス（先生も）にそのまま私だけがグループに入れなかったなど
いじめ
学校でのいじめ
小学校の時特別支援級にいて、通常学級のお子さんが「おまえしようがいじや!」「へんなやつや!」「あたまわるいげん!」とからかいにあいました。
通常クラスの下たばこの場所をえらい人がくるとき、どかされた。
通常学級を望んだが、入れてもらえなかった。
・通常学級で学習したいと希望したが、特別支援学級を強く言われ入ることになった。
小学校への進学时、校長先生からしつこく特別支援学校への進学を勧められ、特別支援学級への進学でさえ嫌がられた
町内の子ども会に入れてもらえず、ラジオ体操に参加させてもらえなかった。子ども会行事の情報も入ってこないし、支援学校の子は入会NGと言われた。
障害がある為兄弟と同じ学資保険に入れない。（入れる保険が少ない）ケガの保険では他の兄弟よりも掛金の高いものにしが入れない。
差別なのかどうかかわかりませんが小さい頃、（幼、保育園に入る前）児童館や、子育てセンターに行くとその職員の目のかたきにされ、（女性）何もやっていないのに帰るころその人に何回事務室に呼びだされ、「おたくのおこさん、〇〇ちゃん（くん）に乱暴した、あとで家へ電話をしてあやまって下さい」と家の電話番号がかいた用紙を渡されました。あとでかけると、おかあさんらしい人がでて、ありがとうと言われたこともあるし「そうなの、でもおたくのおこさんは私は知らない」と言われました。そういう子を連れてくるなと言われたことはないという問題もおこるしはつきりいって私困るのねーみたいな態度をスタッフからは毎回とられました。市役所のまど口にも言ったが（福祉課）聞いてもらえませんでした。
どうせいなくてもできないんでしょっていわれた
8番ら一めん駅西店でおいっ子がさわいだら、「出ていけ」と言われた。こちらでも子供をだめていたがまだ理解されていない。

問 4 4	白山市の人々に対して、障害への理解を広げるために、どのような方法が有効だと思ひますか。以下に自由にご記入ください。
理解は徐々にされていくと思うが、平等認知には致らないと思う。	
・広報などにコラムをのせる・障害のある人を雇用しているなら、社内での勉強会などの実施	
・白山市長が障害者に対してもっと理解を示し、接極的な施策をとる。・障害者リストを作成し市民に公表する。どこに誰が障害者なのか、知らせることにより、もっと理解が深まる。	
障害者が多方面で活躍している姿をメディア等で広く周知、PRする。	
まだ学生なので、わからないことがたくさんあります。でも、地域にこんな障害をもっている人がいるということを周知していかないといけないのではないのでしょうか。	
障害者に対して特化した行政サービスを行っている自治体として広報活動（メディア等）する。その上で、市の祭りやワークショップ等へ積極的に参加させ周知される様にする。（先に情報を周知する事で差別をなくし共感を得られやすくなる）	
障害のある人が社会へ出ていくことが必要だと思う。私は自閉症の子どもをどんなときでもどこへ行くにでも連れていきますが、外出先などで、同じような障害をもつ人をみたことがあります。理由はません。支援学校の母親たちも、子どもを連れて買い物や旅行に行けないと言います。理由は「人の目」だそうです。私は人の目を全く気にしてないので連れ歩きますが、それができない人達が沢山いるので、障害がある子ども達がもっと外へ出ていろんな物をみて体験できるように、「人の目」←障害者への理解がなされていってほしいと思います。	
障がいのある人も社会の中へでて、いろんなことに参加し、各種イベントなどでも障がい者のコーナーを設けるなどしてほしい。	
障害者自身が積極的に外に出る。（いろいろな人がいるという経験がどんな人でもできるようになると感じるから）	
もっと障害者本人の体験談などを聞いて（または聞く時間、場所）を作ってほしい。学校など集会などで子供達に話を聞く機会を作ってほしい。	
一人一人が少しでも思いやりの気持ちを持って接してもらえればいいと思います。講演会など行なうことも良いことだと思います。	
発達障害は、目に見えない障害です。それを目に見える形で体験をさせてくれる団体があります。理解を深めるために、いろいろな場所で、それができたら良いと思う。障害という名前がバリアとなっていて、障害のことを聞いているのではないのではないのか？障害があるから、がまんしなければいけないのか、など、お互いにバリアができて、近づけないと思う。平均して、できなければいけない考え方は、障害をもつ人にとって、生きにくい。出きる出来ないではなくて得意、不得意として、とらえ個性を尊重できる社会になれば良いと思う。	
私（子ども）は現在、様々な支援、配慮のおかげで、安定した状態で生活できていますが、中でも最も大きいのが担任の先生の理解、支援だと思います。担任の先生の接し方や周囲との橋渡しにより、障がいを持たない周囲の子や保護者、他の先生方の理解度も違ってくるからです。なので、白山市でも金沢市のように、特別支援級の担任の先生を対象に、年に一回程度の研修を行うことが、あらゆる障がいへの理解を深めることへの一歩として有効だと考えます。	

話せる聴覚障害は軽視されやすく、学校等でのサポートもあとまわしにされやすい。障害別でどんなサポートが必要か教育者に指導していただきたい。	
親自体は、障害を理解していますが、子供に対しても理解してもらえない様、教育を行ってほしいです。学校の教育科目に入れてみてはどうでしょうか。	
息子は小学校へ通っていますが、同学年はもちろん、他の学年の子供達にも「障害について」の学習、教育の時間を今以上に増やして理解してくれたいなと思います。	
・市がコミュニケーションを取るための施策を考える。・市長が全面的に障害福祉をサポートしている事をアピールする。・各施設（デイサービス等）に地域の人に遊びにきてもらい、理解してもらう。	
年令関係なく障害者との交流・ふれあいが必要だと思う	
できるだけ支援級ではなく、普通級で健常者、障害者が共に学べるように小さい時から自然に隣にちよっと手伝ってあげなきゃいけない子がいるという環境をつくってあげる方が良いのでは。小さければ小さい程自然に受け入れてる気がします。大きくなって差が大きくなってからいきなり隣に来てでも敬遠してしまうと思うので	
幼い頃から地政の保育園～中学校にあたりまにまに通い、同年代の子どもや生徒と一緒に過ごす事がとても大切に思います。行き場を探す為に右往左往しなければならない事が多く感じます。住んでいてる地域で生きて行ける様になれば身近な周囲の人の理解が得られやすいのではないのでしょうか。	
まずは障がいのある人となない人が一緒に生活し関わることからだと思います。障害の程度によって分かれる社会があたり前で、教育を受けることで障がいを持っている人と家族は差別を受けず。光多朗は幼少期から地域の中で育っているのので、地域の中ではとても過ごしやすいです。そして一緒に育つ子どもたちは素直に光多朗の存在を認め助けてくれます。差別をつくり出しているのは大人です。教育現場から早急に理解を求めることが重要かと思いますが…。障がいがああるからという理由で支援学校へしか行けないと思われの方が多いです。ここは行政がしっかりと伝えることが必要だと思います。障がいをを持った方々と関わることは本当に大切な事はなにか気付けるチャンスです。	
小さな頃より、障害のある人々と生活する機会を増やしていく。	
地域との交流を深めること（なるべく自分からすすんで何にでも参加する、やってみるをモットーにしています）	
・障害者又は、その人を支援している人達が積極的に、まわりの人々と関わっていく事。・市民が障害者の就労施設の文化祭等に積極的に参加する事、気軽に立ち寄りたりできる様になること。	
1 障害児と健常児が、交流できる機会を増やすこと。	
小さいうちから関わりを持てるような機会がもてれば、少しは偏見はなくなるかな？？小学校へ行くとか、その反対に小学生が支援学校の子と交流もつか？？	
興味を持つこと 同じ人間だという目線をもつこと	
リハビリ施設、内容を増やしてほしい。	

いまだに、障害の子を持つ親（家族）にも、「あのうちはしょうがい者がいるから」と特別あつかいされたりします。子どももつらいですが、親もとてもつらい日々を送っています。でも理解者もたくさんいてくれて、支えられる時があります。イベントなどの参加もそうですが、飲食店にも気軽に入れるようにしたいです。嫌がられたり、さけられたりしますから、時間をずらして食べに行ったりもします。 まずは、福祉サービスの制度を紹介する立場にある人や障害者本人に対して支援を行う人が、障害について正しく理解していただきたいです。 こんなアンケートが来るなんて、びっくりしました。いろんな人がいるのもっと封筒に配慮してほしいです。プライバシーを、考えてもらえると嬉しいです。
--

■本調査に関して、ご意見などございましたらご記入ください。 「世間並み」という表現を使った意図がわからない。「一般的な」とか「平均的な」とか他の表現に置きかえようという指摘が、作成前に出なかったのか、不思議だ。 障がい者に「害」の字がつくことがわざわざいや悪影響を及ぼすみたいで嫌です。 「障害」という言葉は、親にとっても周囲の人にとっても、壁になり、積極性を欠く言いまわしに思えます。言葉ぐらいいと思うこともありますが、日本の社会は、特に、同じことを好む人が多いため、差別につながっていると思う。若いときから、ボランティアや障害の方々と共に、すぐせる機会がある人は（支援する大人もきちんと理解できている上で）自然なつき合い方をしている人が多い。もっと違うことをおもしろいと思える考え方ができる人たちが増えていくことを願います。調査にとどまらず！！できるだけ、これをもとに、何か実行、実現をしてほしい。・発達障害の手帳があれば・・・。 eについて、ですが、障害にも重い軽いがあります。障害があるものが、事件、事故を起すニュースがあります。一概には決める事は出来ないと思います。 記入する人物が子どもだった場合にはいりよがたりない。 療育手帳を返したので、このアンケートがなぜ送られてきたのか…わかりかねます。たぶんお役に立てないと思います。すみません。 ・個人に対しても必要であるが、ほとんどが親族が面倒見ているので、親族の意見調査も必要であると思う。・障害者自身アンケート内容を理解出来ないと思う。理解出来るなら、ほとんど自分で出来る。（自閉の場合）・身体と精神では、アンケートの質問が異なる。もっと区別して実施すべきではないか。 16才の高校生が返答していますので、後半の質問に関しては、まだ未知の世界、言葉の意味も、社会の組織、しくみもわからない事だからで、返答しております。研究の役に立つかどうか、わかりませんが… アンケート結果がしっかりと障害福祉施策に反映されているという実感がほしい。またはデータ結果の公表やその結果をもとにどのような施策にとりくんでいくかなど課題を明確にして対処していただきたいです。身障者がどのように感じているかだけの統計的な調査では意味はないと思うからです。 このアンケート結果を集約したものを郵送下さるとうれしいです。 ・サンプリング調査と言うことでしたが、市もこういう事をするのであればあらかじめ説明しておいてほしい。・個人情報保護法（23条）の的用の所でやっているのと同意なしでやる事は、知っていますが、出されば同意書をとってほしい。・アンケートを記入した以上は、該当者に対してフィードバックをしてほしい。※色々書きましが障害者のためがんばってください。 アンケート内容が難しい。 本人はまだ幼い（1才0ヶ月）なので質問内容が難しかったです。 自閉症の息子に代わって回答しました。本人でないと回答できないものは白紙にて提出します。もう少し設問の内容がやさしければ、本人の意志を反映して回答できたと思います。

問45の質問ですが責任や義務という事を理解できる子供ならよいですが私の子はむずかしい言葉は理解できないのという事をわかってもらえるような社会（周りの人）になってほしいと思います
名簿の処分が予定となっております。「いつまでに？」期日を決めてください。
両親は白山市の住民ですが、本人は、金沢市なのに白山市から調査がくるのでしょうか？
障害福祉について、もっと知る機会、学ぶ機会が必要だと思う。障害福祉サービスはもともとと聞かされていないものになる必要がある。その為に調査や、研究などを数多くされることを望みます。また、発達障害についてももっと深く調べ、目に見える形にしてほしいと思います。
資料とするだけでは無く、役立った地域作りをお願い致します。
障害をもった子ども達が生きやすい世の中になるように改善していつて下さい。白山市は他の市町村に比べて障害をもつ人に対して優しい街だと思えます。どうか良い方向にだけ動いていって下さい。
もっと障害者に対して理解の深まる社会になることを願っています。障害者も住みやすい社会になりますように…
障害のある人（特に発達障害のような外見を見て障害があるとわからないような人）も住みやすく働くことのできる市（町）を作ってください。いつか医療が発達して障害が治る…そんな時代がきますように…
本人がまだ6歳しかも知的にも身体とも重度なので答えるのが難しい部分が多々ありました。子供がまだ5才なので、未来の事は考えられないので確実な回答なのか不明です。又、内部障害の為、苦勞する面も現在、あまりなく、アンケートに参加するべきなのかと考え、なかなか書けませんでした！
・本人の意思表示がむずかしいので親の推測で記入せざるをえなかった部分があります。
5才なので本人の記入はできませんでした。本人の意思を尊重してとありますが、実際どうか分かりません。調査の結果で、何が変わるのか分かりませんが、障害者福祉施策の充実のために頑張りたいと思います。提出が遅くなりすみませんでした。
提出おそくなりすみません。
前のページに書きました。
調査を実施して下さり、ありがとうございます。